

第3学年 社会科学習指導案

授業者 2組 酒井楨佐也

1. 単元名 「はたらく人とわたしたちのくらし ~工場のしごと かまぼこを作る工場~」

2. 単元の目標

地域の工業製品の生産に関する仕事について、生産の様子に関する資料や工場見学、働く人への聞き取りを通して具体的に調べ、仕事に見られる特色や他地域との関わりを理解するとともに、仕事に携わる人々の工夫や努力、自分たちの生活との結びつきを考えようとする。

3. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
①東出雲町の人々の工業製品の生産に関する仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 ②かまぼこの生産の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。	①生産に携わる人々が、安心・安全なかまぼこを作るための工夫や消費者の願いに応えるための努力をしていることについて考え、表現している。 ②生産の工夫と地域の特色、消費者の願いを関連づけて考え、表現している。	①工場見学や資料などから、かまぼこの生産の様子について必要な情報をを集め、読み取っている。 ②かまぼこ工場の見学や調べて分かったことを見学のしおりやノートにまとめている。	①東出雲町には、工場での生産に関する仕事があり、わたしたちの生活と結びつきがあることを理解している。 ②かまぼこの生産に見られる仕事の特色や国内外の他地域との関わりについて理解している。

4. 単元の構想

○本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の内容(2)のア、イを受けて設定した。

この単元では、地域の生産に関する仕事の具体的な事例として、かまぼこ作りを取り上げる。東出雲町で生産されるかまぼこは、「揖屋かまぼこ」と呼ばれ、その生産量は県内第1位である。現在も、町内に8つの工場が集まるなど、地域に根ざした産業となっている。地域のかまぼこ生産の様子について、工場見学や聞き取りをもとに具体的に調べることにより、子どもが地域の生産活動への関心を深め、仕事に携わる人々の工夫や努力を理解したり、自分の生活と国内外の他地域との関わりを捉えたりすることができると思われる。

○単元の学習を進めていく上で、子どもが主体的に学びに取り組めるような単元構成を工夫した。

まず、東出雲のかまぼこ作りの特色を調べていき、工場見学を行う。その後、工場でかまぼこを生産するまでの具体的な工夫や努力などを学習する。常に、子どもが中心学習問題に立ち返り、かまぼこの生産に関する仕事の特色や工夫、努力（人気のひみつ）を段階的に習得できるようにする。工場見学の際には、子どもから出た課題をもとに、働く人の様子、生産の様子、商品の様子、工場の外の様子という4つの視点をもって見学を行う。見学の視点に沿って学習していくことで、子どもが見通しをもち、かまぼこの生産の様子や特色を段階的に捉えられるようにしたい。

また、子どもが自分の生活との結びつきを感じられるように、「校区内の工場に見学に行くこと」や「実物に触れること」、「働く人に話を聞くこと」を単元に組み込んでいく。そうすることで、地域のものや人との距離感が縮まり、より具体的に学ぶことができると考える。

5. 単元の指導計画（全15時間）

過程	時数	○主な学習活動	資料	評価規準
つかむ	1	○松江市ではどんなものが作られているのか資料を通して確かめる。	○松江市のものづくりマップ ○名産品の写真	松江市では、様々な工業製品が生産されていることに関心をもち、地域の工業について意欲的に考えようとしている。 【関心・意欲・態度】
	2	○映像資料や地図から、東出雲町でかまぼこ作りが始まった理由を調べる。	○東出雲町探訪映像	東出雲町では地理的利点によりかまぼこ作りが始まったことを理解している。 【知識・理解】
	3	○東出雲町のかまぼこ作りについて気付いたことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題を設定する。	○かまぼこ消費額 ○スーパー・マーケットの写真 ○かまぼこ実物	揖屋かまぼこが多く生産・消費されていることを確認し、学習問題を考え、表現している。 【思考・判断・表現】
調べる・考える	4	○かまぼこがどのように作られているのか資料を通して調べる。	○かまぼこ作りに関する図書 ○かまぼこを作る様子の写真	かまぼこを作るためには、様々な手順があることや、蒸したもの焼いたものなど様々な種類があることを資料から読み取っている。 【観察・資料活用の技能】
	5	○かまぼこの原料について調べる。	○かまぼこの材料の写真 ○原料の仕入れ先がわかる地図	かまぼこは、地元の海や日本各地でとれた魚や外国から仕入れたスケトウダラなどのすり身を原料としてかまぼこを作っていることを理解している。 【知識・理解】
	6	○校区内にある「角かまぼこ」工場への見学の計画を立てる。	○角かまぼこの商品が並ぶ様子の写真 ○角かまぼこ工場の写真	工場の仕事の様子について関心をもち、見学で調べたいことや聞きたいことについて、4つの視点から考えようとしている。 【思考・判断・表現】
	7・8	○「角かまぼこ工場」の見学 ○見学のしおりをもとに、見学で見つけたことを話し合ったり、ノートにまとめたりする。	○見学のしおり	見学の計画をもとに、工場を見学し、かまぼこ作りの工程や働く人の様子、原料の入手先等について分かったことを見学のしおりにまとめている。 【観察・資料活用の技能】
	9	○かまぼこを作る様子から気付いたことを話し合う。	○かまぼこ作りの工程写真	見学で見つけたことをもとに、機械を使うことで、商品を大量に生産していることを考えている。 【思考・判断・表現】
	10 本時	○働く人の様子から、気付いたことを話し合う。 ○見学で見つけたことをもとに、安心・安全につながる工夫を話し合う。	○働く人の写真 ○作業の様子の写真 ○工場図	見学で見つけたことをもとに、かまぼこ工場で働く人は、お客様のことを考え、衛生面・安全面に気を付けて、かまぼこを作っていることを考えている。 【思考・判断・表現】
まとめる・広げる	11	○商品の様子から気付いたことを話し合う。	○商品の一覧表 ○商品の実物	見学で見つけたことをもとに、消費者の願いに応えるために多くの種類の商品を作ったり、新商品を開発したりしていることを考えている。 【思考・判断・表現】
	12	○工場の外の様子から気付いたことを話し合う。	○出荷の様子が分かる写真 ○日本地図	かまぼこ工場の仕事は、原料の仕入れ先や製品の送り先を通じて、他地域とつながっていることがわかる。 【知識・理解】
	13	○東出雲町のかまぼこ工場の学習で学んだことをまとめる。	○これまでの学習で使った資料	かまぼこ工場の学習を通して、わかつたことを自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】
まとめる・広げる	14	○東出雲町の「もの作りじまん」を考え、まとめる。	○これまでの学習で使った資料	地域の生産の仕事についてまとめる活動を通して、地域の人々の生産の仕事と自分たちの生活と結びつきがあることを考え、表現している。 【思考・判断・表現】
	15			

6. 知識と問い合わせ構造図 「はたらく人とわたしたちのくらし ～工場のしごと かまぼこを作る工場～」(計15時間)

【学習指導要領との関連】

(2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。
ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること
イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他の地域などとのかかわり

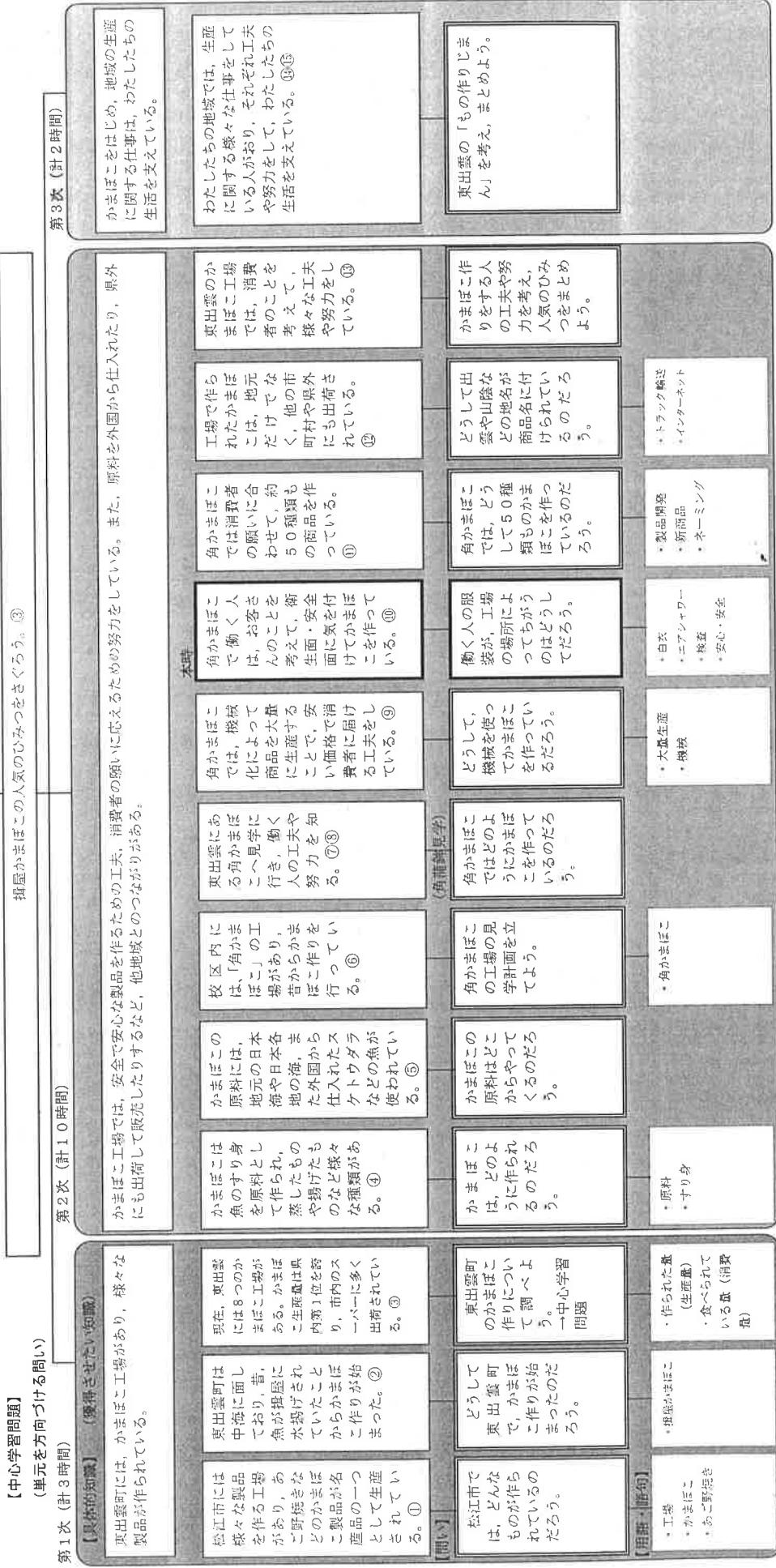
【概念的知識】 (単元を通して獲得させたい知識)

東出雲町では、かまぼこ工場など、生産に関する仕事をしている人がいる。東出雲町のかまぼこ工場では、安心・安全な食品作りを中心がけること、消費者の願いに合わせて様々な種類のかまぼこを作ること、松江市や島根県以外でも売れるようにネーミングに気を付けることなど、様々な工夫や努力をしている。

【中心学習問題】 (単元を方向づける問い合わせ)

第1次 (計3時間)
【見本】
東出雲町には、かまぼこ工場があり、様々な製品が作られている。

【見本】
折屋かまぼこの人気のひみつをさぐろう。(3)
第2次 (計10時間)
【見本】
かまぼこ工場では、安全で安心な製品を作るための工夫、消費者の願いに応えるための努力をしている。また、原料を外国から仕入れたり、県外にも出荷して販売したりするなど、他地域とのつながりがある。



7. 本時の学習（10／15時間）〈3年2組〉

(1) 本時の目標

見学で見つけたことをもとに、かまぼこ工場で働く人は、お客様のことを考え、衛生面・安全面に気を付けて、かまぼこを作っていることを考えることができる。 【思考・判断・表現】

(2) 本時の展開

過程	主な学習活動と子どもの反応	教師の支援（○）と評価（☆）
つかむ	<p>1. 前時を振り返り、本時の学習問題を確認する。 ・工夫の1つ目は、機械を使ってたくさん作正在ことだった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 角かまぼこ工場ではたらく人の工夫を見つけよう。 </div>	<p>○前時の学習に続き、本時も角かまぼこ工場の工夫を見つけることを確認する。</p>
考える	<p>2. 働く人の様子について話し合う。 ○見学から見つけたことを発表し合う。 ・黒い服の人がいた。・白衣の人もいた。 ・どうして同じ工場なのに、服装が違うのかな？</p> <p>○場所によって服装が違う理由を考え、話し合う。 ・白衣の人はかまぼこを作る人だから、きれいにしないといけない。 ・きれいにして、ばいきんやゴミがかまぼこに入らないようにするため。</p> <p>3. 見学で見つけたことから、他に安心・安全なかまぼこ作りのために気を付けていることを考え、発表する。 ・エアーシャワー　・ほうしやマスク ・アルコール消毒　・検査</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> まとめ 角かまぼこ工場では、安心・安全なかまぼこを作るために、服そうをきれいにするなどの工夫をしている。 </div>	<p>○見学の視点の中から、本時は働く人の様子を取り上げることを確認する。</p> <p>○服装の違いに焦点化し、課題意識をもてるように、「同じ工場内なのに、なぜ服装が違うのか」と問い合わせる。</p> <p>○安心・安全なかまぼこ作りのため、服装に気を付けていることに気付くために、服装の理由を考え、話し合う。</p> <p>○見学で見つけたものを想起できるように、写真資料を提示する。</p>
まとめる	<p>4. 本時の学習をふりかえる。 ・安心・安全なかまぼこを作るために、服そうをきれいにするだけでなく、消毒や検査もしていることが友達の話を聞いてわかった。 ・安心・安全なかまぼこ作りのために、エアーシャワーでほこりを取ってきれいにしていることがわかった。他の工夫も見つけたい。</p>	<p>☆見学で見つけたことをもとに、かまぼこ工場で働く人は、お客様のことを考え、衛生面・安全面に気を付けて、かまぼこを作っていることを考えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>